



卒業おめでとうございます

本部高校卒業式

- 令和4年度 施政方針 2~8
- 卒業式 ほか 9
- チューリップ観覧会 ほか 10
- 移動販売車「ロケットーフ2号」ほか 11
- 本部町闘牛組合 ほか 12
- 情報ひろば 13~15
- 本部小学校十三祝い ほか 16

4月からマイナンバーの
 交付及び申請窓口が
毎月第2土曜日も開設
 されました。詳しくは15ページへ



本部町キャラクター ぶとモー



私たちの町
 令和4年2月28日現在

世帯数: **6,473**世帯(+6) 人口: **13,068**人(-12) 男性: **6,658**人(-12) 女性: **6,422**人(±0) ()前月比



ふるさとと美しい自然を愛しみどりの町をつくります(本部町民憲章より)

令和4年度 施政方針

はじめに



況下にあります。

町民の皆様には、感染拡大防止の観点から、日々の生活、事業活動などに多くの制約をお願いしてきたところ、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

令和4年第2回本部町議会定例会の開会にあたり、町政運営の基本的な考え方と主要施策について、その概要を申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の発症者が我が国で確認されてから、2年が経過しました。新型コロナウイルスは、変異を繰り返しながら、世界的に猛威を振るい、本町においても、今尚、感染が続いております。

本年に入ってから、感染力が強いとされるオミクロン株の感染者が急激に増加し、未だ収束の兆しが見えない状

算編成を行ったところであります。

令和4年度の一般会計予算は、総額79億8千3百万円となっており、北部振興事業や一括交付金など各種国庫補助金等を活用し、新規事業を計画・提案しております。ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた予算編成となっております。

令和4年度 重点施策の概要

次に令和4年度における重点施策の概要について申し上げます。

第一に、「まちづくりの重点事業の実施について」申し上げます。

私は、これまで、町政運営の基本姿勢として、町民生活の豊かさを第一に据えながら、全ての町民の『融和』『協調』『個性』を大事に、『日本一心豊かなまちづくり』を目指してまいりました。令和4年度も引き続き、物の豊かさと同時に、『心の豊かさ』を大切にまちづくりの基本的理念といたします。

まちづくりにあたっては、持続可能なまちづくりを意識し、ハード事業とソフト事業とのバランスを図りながら展開してまいりたいと考えております。

令和4年度の主なハード事業には、**満名本線整備事業**、**上本部学園線整備事業**、**山小屋比久線整備事業**、**瀬底団地新築事業**、**給食センター改築事業**など8事業を実施いたします。

ソフト事業関連につきましては、一括交付金を活用し、もとぶマイクロリズム推進事業、もとぶ観光地クリーンアップ事業、メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業など13事業を実施することにしております。

令和4年度より、地域おこし協力隊の制度を活用し、各学校と地域の連携強化を図り、尚一層の子育て支援の強化及び学習環境の整備を図ってまいります。

コロナ後の未来に向かって、本部町の存在価値を高めるためには、情報発信は極めて重要な手段と考えております。令和3年度には、本町ホームページのスマートフォン対応、広報誌のフルカラー及びページの増量をしてまいりました。これらのツールやLINE、FacebookなどのSNSを活用し、独自の情報発信を行ってまいります。

また、FMもとぶや報道各社に記者会見などを引き続き行い、マスメディアを活用した様々な情報発信を行ってまいります。

デジタルツールを活用した行政システムの整備は、コロナ禍後のまちづくりにおいて、その取り組みをますます強化しなければならないと考えております。

令和4年度は、県内自治体の中でもいち早く予算化した





「本部町DX推進計画」の策定、「コロナ等災害対応基盤ネットワーク整備事業」を実施いたします。

さらに令和4年度は各種手続きがインターネットを通して可能となる、「オンライン申請基盤整備事業」を実施いたします。

デジタル技術を活用し町民の生活がより便利に、より住みやすい環境になるよう取り組みを強化し、令和4年度を本町の「デジタル元年」と位置づけ、本町のDXを推進してまいります。

第2に、「地域産業の振興について」申し上げます。



今尚、コロナ禍の影響により町内事業所は厳しい経営状況が続いております。これまで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、商品券・飲食券の助成、農畜水産業者への助成など支援事業を実施してきました。

令和4年度もコロナ禍を克服するため、国や県など関係機関と密に連携し、地域産業の振興について積極的に支援してまいります。

1点目に、「農林水産業の振興」について、申し上げます。

まず、農水産物など販売力の強化を図るため「もとぶ産農水産物消費拡大推進条例」を町民全体に周知し、今後も取り組みを強化してまいります。

また、かりゆし市場を中心に関係機関と一体となったセールスプロモーションの展開及びマスメディアを活用した効果的な販売促進に取り組み、町産農水産物の消費拡大につなげてまいります。

農産物については、「もとぶパワー酢みかん」、「もとぶ

かりゆしゴールド」及び「アセローラ」などを本町のブランド商品に位置付け、さらなる品質向上及び商品開発に取り組み、生産拡大に繋げてまいります。

また、輪ギク、タンカンのほか、多品目の果樹・野菜についても、JA本部支店、花卉農協など生産団体と連携し、生産性の向上及び販売力の強化に努めてまいります。

基幹作物であるサトウキビは、引き続き種苗の配布支援及び病害虫防除など、生産振興を図ってまいります。

養豚については、生産者と連携し、「本部町産あぐ」の認知度向上及びふるさと納税の返礼品に活用するなどPR宣伝に努めてまいります。

肉用牛については、ゲノム解析等により選定した優良雌牛を導入し、受精卵移植技術を活用した「もとぶブランド牛改良促進事業」を新たに実施し、質の高い子牛の生産改良に取り組んでまいります。



有害鳥獣であるカラスやマングース等の被害対策については、令和4年度も引き続き捕獲個体の買取りによる駆除活動などを行い、被害対策を実施してまいります。

農業団体の育成については、「本部町の農業を元気にするネットワークの会」及び「本部町青年農業者の会」を今後とも積極的に支援してまいります。

また、令和4度から「農水産業担い手支援住宅」の入居が始まります。今後も農水産業の担い手育成には積極的に取り組んでまいります。

農業基盤整備については、伊豆味地区の「護岸及び排水路整備事業」を実施しており、令和4年度の完成に向け取り組んでまいります。

また、新たに着工する「具志堅地区かんがい配水施設の整備事業」は、令和7年度の完成に向け事業を実施してまいります。

水産業の振興については、新たに設置した中層型漁礁(パヤオ)を活用し、漁家経営の安定を図ってまいります。

また、カツオやマグロなどは、新たな漁法である「ケンケン漁」を漁業者に広め、鮮度と品質を高めて、セリ市場に出荷できるよう取り組んでまいります。

さらに、既存のモズク養殖、海ブドウ養殖の収量増加に向けた体制の強化及び新規養殖品目の検討を進めてまいります。

森林保全については、特に八重岳の森林地域は自然保護区の指定を受けるなど、森林機能として、重要な位置づけがされております。また、日本一早い桜まつり



きまりを守り互いに力を合わせて明るい町をつくります(本部町民憲章より)

が開催されるなど貴重な観光資源でもあります。下草刈りや雑木の伐採、桜への施肥作業等を行い、今後とも積極的に保全し、観光資源としての活用を推進してまいります。

2点目に、「商工業の振興」について、申し上げます。

コロナ禍における商工業の振興につきましては、本部町商工会と連携し、「雇用調整助成金」、「一時支援金」、「月次支援金」及び「事業復活支援金」などの申請支援並びに「中小企業信用保険法」による融資の認定などを継続的に実施しているところであります。

また、地方創生臨時交付金を活用し、商品券及び飲食券事業の実施により、コロナ禍による町内事業者の経済的影響の緩和を図ってまいりました。

令和4年度も商工会などと連携を図り、町内事業者の経営の安定を図るため「メイドインもとぶ産品成長産業化推進事業」を実施し、町産品の販売強化及び販促支援

を推進してまいります。

3点目に、「観光の振興」について、申し上げます。

令和3年の沖縄県及び本町の観光入域者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、激減している状況です。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況に大きく影響されると考えられ、特にインバウンドについては、入国制限措置がとられており、当面の間は厳しい状況が続くものと予想されます。

コロナ禍における観光振興については、本町の持つ自然を活用し、令和3年度より実施した「もとぶ八重岳新緑まつり」及び「ヒルクライムレース」などを令和4年度も実施いたします。また、田空ハートン公園においては、新たにキャンプ場やグランドゴルフ場の開設などに取り組みしております。町内の新たな観光資源を掘り起こし、マイクロツーリズムを引き続き推進してまいります。

その一つとして、ツアーガイドの育成により、質の高い観



光受入態勢を構築することを目的に、新たに「もとぶマイクロツーリズム推進事業」を実施してまいります。

さらには、観光地としての魅力強化を図るため「花いっぱい運動」の継統と新たに「もとぶ観光地クリーンアップ事業」の導入により道路の安全性の確保や、安心・快適な観光地としての地域環境の美化を図ってまいります。

今後も観光振興については、観光協会・商工会・沖縄美ら島財団など各種団体とも引き続き連携して取り組んでまいります。

第3に、「住民生活の環境整備について」申し上げます。

1点目に、「生活道路の整備」について、申し上げます。

道路の整備については、地域住民の生活および利便性向上の観点から極めて重要な課題であります。

北部振興事業を活用して整備を進めてきた、町道の5つの路線については、令和4年度中に供用を開始してまいります。

瀬底島一周線、満名川線、そして石川謝花線の謝花区間の3路線については、令和3年度で全線の工事が完了いたします。これらは生活・産業を支える新しい道路として、多くの町民が活用するものと期待しているところであります。

石川謝花線の石川豊原区間と嘉津宇具志堅線の2路線につきましては、令和4年度内の早期開通に向けて、工事の加速をしてまいります。

一方、令和4年度から始まる新しい北部振興事業につきましては、本町の新しい町道整備事業として、旧上本部飛行場北側を横断する全長約2kmの『町道上本部学園

線』と、先に整備した満名川線の北側に位置する全長約1kmの『町道満名本線』の整備を手始めに計画しております。これまでの北部振興事業で整備してきた多くの町道と同じく、本町の定住促進につなげてまいります。

健堅石嘉波線については、令和4年度も沖縄振興公共投資交付金を活用し、用地測量等を進め、早期の開通に向けて取り組んでまいります。

長年の懸案事項となっておりました東浜川線につきましては、令和4年度に社会資本整備総合交付金を活用した道路の嵩上げ工事を実施し、より安全・安心な生活環境を目指してまいります。





思いやりの心でいたわり助けあって住みよい町をつくります(本部町民憲章より)

山里屋比久線の大原地区については、終点側の一部区間が未開通でありましたが、このたび地権者との用地交渉が解決したことなどから、町単独予算の事業として整備を行うてまいります。本整備により、町民生活の利便性が向上することに加え、本町の定住促進にもつながるものと考えております。

橋梁の改修については、佐伊土間橋の架け替え工事を完了し、令和4年度はじめには供用を開始する予定となっております。

2点目に、「町営住宅の整備」について、申し上げます。

定住人口の確保のためには、町営住宅の整備が喫緊の課題であります。令和3年度は、北部振興事業を活用して、嘉津宇団地を整備いたしました。子育て世帯が入居し、地域のさらなる活性化が図られているところであります。

また、具志堅団地の整備工事にも着手しており、令和4年度中には完成する予定であります。

さらに、令和4年度には瀬底地域においても用地購入と設計業務を行い、令和5年度の完成に向けて取り組んでまいります。

今後とも順次、子育て支援住宅を整備し、定住人口の確保に努めてまいります。

3点目に、「港湾整備」について、申し上げます。

国の特定地域振興重要港湾として位置づけられている本部港は、本町のみならず北部地域の物流拠点として重要な港湾となっております。

令和2年4月より東京・大阪航路が琉球海運によって定期就航し、現在では北部地域を中心に沖縄県全域の物流を扱っており、今後とも本部港が担う役割が大きくなつていくものと期待しております。

また、クルーズバスが着々と整備され、令和4年度中に完成予定となっております。現在のコロナ禍が収束した際にはクルーズ船が寄港し、多くの乗客が見込まれることから、管理者である沖縄県と連携し、港湾管理の強化を含めた港湾整備に努めてま

まいります。

4点目に、「町道など生活道路の補修等」について、申し上げます。

令和3年度より町単独事業として、『もとぶ集落環境美化支援事業』により、地域住民が道路の維持管理に参画する仕組みを作りあげてまいりました。

令和4年度は、さらに道路の維持管理・美化を拡充すべく、一括交付金を活用し、『もとぶ観光地クリーンアップ事業』により、体制の強化を図つてまいります。

第4に、「町民の福祉・保健・衛生について」申し上げます。

1点目に、「福祉の充実」について、申し上げます。

コロナ禍が長期化する中で、福祉行政の果たす役割は、これまで以上に重要度が増しております。社会的に弱い立場の方への支援を、より一層、関係機関と一体となつて取り組んでまいります。

児童福祉につきましては、子育て世代の減少、かつ少子化が進む今日、子どもと子育て家庭をめぐる社会環境が大きく変化しております。また、その課題も一層複雑化しております。

本町といたしましては、子育てへの支援ニーズに幅広く対応し、子どもを産み育てやすい環境整備に取り組んでまいります。

本町独自の子育て支援事業を展開するため、令和元年度に創設した、「本部町子ども・子育てゆいまーる基金」へは、町内外より、多くの個人・企業などから賛同を頂き、年々輪の拡がりをみせております。

本基金を活用し、令和4年度については、①幼稚園児

への絵本の提供によるふれあい学習支援、②双子等出産時における支援、③子どもの居場所づくりへの支援、④保育園児への食費支援、⑤町立学校へのデジタル教科書支援、⑥県外等への派遣費支援、⑦ブックススタート事業支援、⑧南富良野体験交流事業支援、⑨中学校進学支援、⑩子育て世代育児用品支援、⑪妊産婦子育て世代移動支援を行つてまいります。

今後とも本基金を活用し、町内児童全体がこの町に住んで良かったと思える、『心豊かなまちづくり』に繋がる事業展開をしてまいります。

次に放課後児童クラブであります。令和3年4月に開所した『もとぶ放課後児童クラブ』に続き、令和4年4月には公設民営2か所目となる『かみもとぶ放課後児童クラブ』が開所いたします。

また、保護者が安心して預けられるよう、町内の放課後児童クラブに職員研修を受けさせるなど、質の向上に努め、次世代を担う児童の健全育成を図つてまいります。

子どもの貧困対策や児童虐待等につきましては、支援



員を配置するなど、引き続き
学校現場など関係機関と情
報共有を密にしなから、ぎめ
細やかな支援体制を構築し
てまいります。

また、令和3年度より本
部町社会福祉協議会、日本
郵便株式会社と本町の三者
で「子どもの貧困対策に関す
る協定」を締結し、「食べ物ゆ
いまる事業」の取り組みを
開始しております。令和4年
度は、当事業の一層の充実を
図ってまいります。

子ども医療助成制度につ
きましては、子育て世帯の経
済的負担の軽減を図るため、
令和4年4月から現行の「就
学前まで」とする通院時の医
療費無償化の対象年齢を「中
学卒業まで」拡充してまい
ります。

老人福祉については、高齢
者が加速する中、介護保険
サービスや認知症の相談件
数が増加傾向にあります。本
人・家族の相談に適切な支援
が届けられるよう取り組ん
でまいります。

コロナ禍により自宅に引き
こもってしまわないよう、引
き続きりハビリ教室や運動



教室等の事業を充実してま
いります。

「地域包括ケアシステム」の
構築については、要介護状態
になっても、住み慣れた地域
で自立した生活が続けられ
るよう医療・介護・予防・住
まい・生活支援が一体的に提
供できるような体制の強化を
図ってまいります。

障がい福祉につきまして
は、障がいのある方や家族の
実情に応じた、きめ細やかな
相談支援や緊急時の受け入れ
体制を備えた「地域生活

支援拠点等」の機能の充実を
図ってまいります。

また、障がいのある方が社
会の一員として、地域で生活
できるようサポートを行って
まいります。

さらに、障害者優先調達推
進法に基づく安定した就労
場所の確保を図るため、これ
まで以上に障害福祉事業者
等との連携を強化してまい
ります。

2点目に、「保健・衛生」につ いて、申し上げます。

コロナ禍が続く中、令和3
年度につきましては、町内の
各種団体と連携し、感染拡
大防止対策の周知徹底に努
めてまいりました。

また、ワクチン接種につ
きましては、令和4年度も引き
続き、関係機関と連携し、新
型コロナウイルス感染症の感
染防止対策としてのワクチン
接種体制の強化を図ってま
いります。

住民健診につきましては、
例年通り、集団健診と個別
健診を実施いたします。令和
4年度からは、新たに若い世
代が受診しやすい環境づくり

の一環として、集団健診の受
診日を土日に限定し、健診会
場も役場にするなど、受診率
の向上に努めてまいります。

また、健診後の保健指導に
おいては、保健師や看護師等
による訪問指導や電話相談
を実施し、糖尿病など、生活
習慣病の重症化予防に努め
てまいります。

インフルエンザ等の予防接
種の費用助成については、繼
続して実施してまいります。

国民健康保険事業につき
ましては、被保険者の高齢化
による医療費の増加等によ
り、財政運営は依然として厳
しい状況にあります。

主要な財源となります国
民健康保険税につきまして
は、引き続き夜間相談をはじ
めとする納税相談及び分納
指導等を積極的に行ってま
いります。

後期高齢者医療制度につ
きましては、「高齢者の保健
事業と介護予防の一体的な
実施」に係る事業を実施し、
後期高齢者になっても切れ目
のない保健指導を行ってま
いります。

環境衛生につきましては、
ごみの資源分別の意識を高
め、減量化と資源化を推進し
てまいります。

ハブ対策につきましては、
引き続き捕獲器を増設いた
します。また、生息範囲が拡
大しないよう監視し、個体数
を減少させる取り組みを強
化してまいります。

第5に、「上下水道事業につ いて」申し上げます。

水道事業につきましては、
令和4年度も施設の維持管
理及び水質管理を重点にお
き、町民への水の安定供給に
努めてまいります。また、令和
3年度に続き「並里浄水場」
と「笹川浄水場」の機能を
統合した「新浄水場」の整備
を推進してまいります。令
和4年度においては、浄水池
建設に係る杭打ち等基礎工
事を引き続き施工してま
いります。

また、安定した水の供給体
制及び経営安定を図るため、
老朽管の更新及び漏水の調
査、未納対策など引き続き強
化してまいります。



「武本部」とは、進取の気性に富み、質実剛健で文武両道の町民のことだよ!



第6に、「幼稚園教育・学校教育・社会教育について」申上げます。

公共下水道事業につきましては、昭和50年の供用開始から46年が経過し、各所で老朽化が著しく進んでいることから、全面改修が必要な状況であります。令和4年度からは、これまでの施設修繕整備に加え、全面改修に向けた基本設計業務に着手いたします。

令和4年度も引き続き下水道接続への理解と協力が得られるように、適切な施設の維持管理を行い、安定的な経営を目指してまいります。

教育行政の基本姿勢として、

ましては、本町の自然・歴史・風土を踏まえ、先人から受け継がれたムトウブンチュ気質である「質実剛健」で「進取の気性」に富んだ『武本部』と称される「文武両道」の精神を、人材育成の基本に掲げて教育施策に取り組んでまいります。

令和4年度から新たに、町内小中学校及び本部高校において、地域おこし協力隊などを活用し、未来を担う子ども達が、生まれ育った「ふるさと本部町」に誇りを持つ、人材の育成に努めてまいります。

1点目に、「幼稚園教育」について、申上げます。

幼稚園教育につきましては、本部幼稚園に専任園長を配置し、全幼稚園の体制強化を図っているところであります。令和4年度においても、全幼稚園の職員研修を充実させ、保育園や小学校との連携強化を図り、引き続き教育体制の構築に取り組んでまいります。

2点目に、「学校教育」につ

いて、申上げます。

学校教育においては、「豊かな人間性」、「確かな学力の向上」、「自立心の向上」の3つの取り組みを「人間力」として、引き続き人材育成に努めてまいります。

豊かな人間性については、教育的ニーズに応じた学びの場を充実させるために、本部町特別支援コーディネーターを活用し研修会を実施してまいります。

確かな学力の向上については、各小中学校に配置しております学力向上推進教師等の活用や、ICTを活かした個別最適な学びを推進してまいります。

自立心の向上については、目標に向かって粘り強く努力ができる児童生徒を育成するためにキャリアパスポートを積極的に活用してまいります。

伊豆味小中学校の屋内運動場改築工事につきましては、令和3年度より改築工事に着手しており、早期に完成させるよう取り組んでまいります。

学校給食においては、食を通して食べ物に関する知識や生活習慣、健康な体づくりなどの食育の推進を図ってまいります。

学校給食センターの改築事業につきましては、令和3年度に基本設計、実施設計を行っており、令和4年度からは建築工事に着手し、早期完成に取り組んでまいります。

新たに令和4年度から、安心して子育てができる環境づくりの一環として、子育て世代の経済的な負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、幼児・児童生徒の学校給食費無償化に取り組んでまいります。

本部高校の支援につきましては、部活動などの支援、大学及び専門学校等への進学支援を引き続き図ってまいります。

3点目に、「社会教育」について、申上げます。

社会教育の振興につきましては、継続的に自然観察教育等を実施してまいります。

また、夏休みを利用した地域学習教室や子ども会活動においても、各字公民館と連携し引き続き取り組んでまいります。

もとぶ文化交流センター及び町立博物館につきましては、自然・歴史・文化などの魅力の情報発信、体験・交流、郷土学習及び各種研修などの活用を推進してまいります。

また、本部町文化協会と連携し、もとぶ展の開催など文化活動を支援してまいります。

スポーツ振興につきましては、運動公園や町民体育館、各学校の体育施設などの活用を促進し、スポーツを通して町民の健康維持や体力向上を図ってまいります。

第7に、「行政組織体制の強化と財源の確保について」申上げます。

地方自治体は、自らの判断と責任において、効率的・安定的な行政運営が求められております。新型コロナウイルスの影響により、我が国においては、行政デジタル化の



マスクを着用し、消毒・手洗いをして感染予防を徹底しよう。



遅れが浮き彫りとなりまし
た。本町は、行政デジタル化に
いち早く取り組み、令和
3年度にデジタル広報紙を
設置しております。これから
日々変化を遂げる社会情勢
に、的確かつ迅速に対応でき
るよう行政組織体制の強化
を図ってまいります。

財源の確保につきましては
は、町税及びふるさと納税
をはじめとする自主財源の
確保・拡充に取り組んでまい
ります。

税収につきましては、新型
コロナウイルス感染症の影響
による減収等について、今後
の動向を引き続き注視して
まいります。

収納の面では、昨年12月か
ら開始しましたキャッシュレ
ス決裁による非接触型の収
納を推進し、感染症対策にも
努めてまいります。

また、法に基づく滞納処
分等を適正に行い納税の公
平性を維持し、併せて収納
率の維持、向上に努めてま
います。

個人版ふるさと納税、企
業版ふるさと納税の応援寄
附につきましては、令和4
度におきましても、多方面
に応援寄附の協力をはたら
きかけ、『心豊かなまちづく
りに有効活用を図ってま
います。

おわりに

以上、令和4年度の町政
運営にあたり、主要施策の
概要につきまして、重点事
業と新規事業を中心に、そ
の一端を申し述べました。

施策の推進にあたりまし
ては、全職員連携のもと、
総力を上げて遂行してい
ます。

最後に、令和4年度にお

いても、町民本位の行政運
営を基本とし、常に親切丁
寧な対応に徹し、質の高い
行政サービスの提供に努め
てまいります。

私の目指す「日本一心豊
かなまちづくり」を実現す
べく、全力で取り組んでま
いますので、議員各位並
びに町民の皆様のご理解
とご協力を賜りますよう、
切にお願い申し上げます。令
和4年度の施政方針といた
します。

令和4年3月10日

本部長 平良 武康



多数のご寄附ありがとうございます 子ども・子育てゆいまーる基金

子ども・子育てゆいまーる基金に1年通じ多数のご寄附をいただきました。寄付者と寄付金額は次のとおりです。

(令和3年4月1日～令和4年2月28日 受付分)

| | | | | | |
|--|------------|-------------------------------------|------------|-------------------------------|------------|
| コカ・コーラ様(1円運動) | 79,102円 | 柴田 恵子様(3回寄附の合計金額) | 185,361円 | 阿波根 昌興様 | 100,000円 |
| かりゆし市場・生産者の会様(1円運動) | 98,839円 | 農業生産法人 もとぶウェルネスフーズ(株)様 (1円運動) | 39,413円 | 本部闘牛組 様 | 100,000円 |
| 三和金属株式会社 様 | 1,000,000円 | 株式会社 渡久地組 様 | 1,000,000円 | 本部町建設コンサルタント協会 様 | 50,000円 |
| 伊江島石油合同会社様(1円運動) | 307,000円 | 下地 久子様 | 270,000円 | 玉城 晃 様 | 100,000円 |
| 山城とうふ 様(1円運動) | 5,161円 | 沖縄県農業協同組合 本部支店 様 | 50,000円 | 豊田 洋一 様 | 220,000円 |
| 医療法人野毛会 もとぶ野毛病院様 (故 上田前理事長の香典返しとして) | 1,000,000円 | Hilton Grand Vacations Japan 合同会社 様 | 300,000円 | 大城 善信 様 (故 大城善雄 氏の香典返しとして) | 100,000円 |
| 藤本 孝子 様 | 300,000円 | 株式会社 本部リース 様 | 500,000円 | 屋比久 吉子 様 | 30,000円 |
| 有限会社 全勝組 様 | 500,000円 | 有限会社 協進 様 | 100,000円 | 長濱 徳松 様 | 3,000,000円 |
| (株)沖縄県食肉センター様(1円運動) | 33,893円 | (株)沖縄県食肉センター 様 | 100,000円 | 匿名様(7名) | 5,700,000円 |

令和4年 子ども・子育てゆいまーる基金活用事業一覧

令和4年度は本基金を活用し、下記事業を実施していきます!

| | | |
|--------------------|-----------------|-------------------|
| 絵本ふれあい学習支援事業 | 保育園児主食費支援事業 | 南富良野町体験交流事業 |
| 各種検定ハイレベルチャレンジ支援事業 | 子どものデジタル教科書導入事業 | 中学校進学支援事業 |
| 双子等出産子育て支援事業 | 子ども県外・県内派遣費補助事業 | 本部町子育て世代育児用品支援事業 |
| 子どもの居場所づくり特別支援事業 | ブックスタート事業 | 本部町妊産婦子育て世代移動支援事業 |



毎月最終日曜日は、日曜朝市が開催されてるよ。



本部中学校



伊豆味中学校



上本部学園

町内各学校で卒業式

3月、町内の各小学校と中学校及び高等学校で卒業式が行われ、それぞれ新たな夢へ向かって羽ばたきました。今年度の卒業生は、学校生活のほとんどを新型コロナウイルスの感染拡大に気を配りながら過ごしてきました。修学旅行の延期や中止も余儀なくされ、その他行事においても規模を縮小して実施するなどこれまでと違った学校生活を送ってきました。

卒業生を代表して挨拶を行った上本部学園3年の大嶺礼楓さんは「コ



ロナ禍でも様々なアイデアを皆で出し合いながら行事を行い、仲間と協力することの大切さを学びました。一人一人が夢に向かって自分の道を歩んでいきます」と学校生活の思いを語りました。

本部中学校3年のオグンブンミ永琉斗さんは「それぞれ進む道は違うが、共にコロナ禍を乗り越えてきた絆で繋がっています。これからそれぞれの道へ力強く歩んでいきます」と卒業への想いを述べました。

本部高校3年生が地域貢献

2月4日、本部高校3年生による清掃活動が渡久地港周辺で行われました。これは、卒業を目前に地元への恩返しと社会に貢献する機会を与え、将来的な意識付けを図ることを目的に渡久地港船主会(島袋恵会長)の協力の下行われました。

島袋会長は「卒業前にクリーン活動を行い継続していくことで、将来の本部町はより一層良くなると思うので一緒に綺麗にしていきましょう」と話しました。

清掃活動を行った同校3年の仲宗根卓希さんは「卒業を機に本部町を



離れる人もいるが、いつ戻ってきてても綺麗な海が見れるよう後輩たちにも続けていってほしい」と話しました。また、同校3年の平良琉夏さんは「コロナが収まった時に、またみんなが遊べる海であるために今から取り組むことが大事。みんなで綺麗な海を守っていききたい」と思いを語りました。

約30名の生徒たちが2時間程かけてごみの回収等を行い、ごみ袋25袋分のごみを回収して渡久地港周辺の景観が改善されました。



本部高校3年生



清掃活動の様子



4月6日～15日は春の全国交通安全運動が実施されるよ。



チューリップ観察会に参加した児童たち



スケッチを楽しむ児童ら

満開の チューリップ観察会



2月12日、海洋博公園内の熱帯ドリームセンターにおいて、熱帯植物とチューリップの観察会が行われました。もとぶ放課後児童クラブに通う小学校低学年の児童約15人が招かれ、満開のチューリップのスケッチを行い楽しんでいました。その他にも、同センターで植物管理を担当する沖縄美ら島財団の砂川愛子さんがガイドを務め、ランの種類や日頃見られない植物の生態について説明していました。

参加した本部小学校1年の比嘉綱龍（こうりゅう）さんは「チューリップは寒い地方の植物なので、沖縄では冷蔵庫に3か月間球根を寝かせていることがわかった。いろんな色のチューリップがあつてとても綺麗だった」と楽しそうに話しました。

また、昨年12月には町内各小学校でチューリップの栽培教室も行われ、町内各小学校でもチューリップが満開に咲いていました。

町内各小学校へ 黒糖商品の贈呈



「かち割り黒糖」の贈呈を行う知念支店長

特産物となっている黒糖の需要拡大を図る取組として提供されました。

贈呈を行った知念支店長は「コロナ禍により観光客も減り、黒糖の需要にも影響が出ている。この機会に是非、子どもたちにも黒糖を味わっていただき美味しさを知ってほしい」と話しました。

知念教育長は「本部町でも黒糖の原料であるサトウキビを生産している農家が多くいるため、黒糖がどうやって作られているのかなどを考えながら、食育の一環として食していただきたい」と思いを語りました。
贈呈いただいた黒糖は、町内各小学校の児童らに配布されます。



沖縄戦直後の本部町に関する 写真展開催

3月1日、本部町立博物館において「沖縄戦直後の本部町に関する写真展」が開催されました。写真展は、沖縄戦終戦直後の1945年7月から10月頃の本部町を撮影した写真が展示され、当時の風景や人々の生活の様子が鮮明に残されていました。

掲載している写真については、当時本部町に駐在していた米兵によって撮影されたものを米国在住の沖縄写真収集家のドン・キューソンさんが収集を行い、読谷村在住のラブ・オーシュリさんを通じて本町に寄贈が行われ写真展の開催に至りました。

写真展は、6月30日まで開催されているほか、展示している写真に関する撮影場所や状況等の情報提供も求めています。



写真展の様子



展示写真



空気が乾燥しやすい季節だね。火災が発生しやすいため、火の元には注意しよう!

移動販売車「ロケットーフ2号」

本町では、交通手段がない方や最寄りの商店までの距離が遠く、日常の買い物に困難な住民への買い物支援及び町産品の消費拡大を推進する目的で、昨年移動販売車「ロケットーフ2号」の導入を行いました。移動販売車は、山城とうふ店が運営を行い、町内のスーパーや商店がない字や公民館等を巡回することで、買い物支援のみならず地域コミュニティの活性化も担うなど無くてはならない存在となっております。

買い物を行った住民からは「足が痛くてスーパーへ行けない時などもあるため、近くまで来てくれて助かっている」という声や「豆腐や惣菜など種類も豊富で、一人用の大きさもあるので買いやすい」といった意見も聞かれました。

移動販売車を運営する山城とうふ店の山城怜司代表は「販売してほしい商品や巡回してほしい場所などの依頼もあり、認知されてきている。今後は、移動販売車の台数も増やして、やんばるの過疎地域へ巡回も近い本部町の商品をどんどん広げて地産他消を目指していきたい」と今後の意気込みを語りました。

移動販売車「ロケットーフ2号」巡回ルート

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 辺名地 | 東 | 崎本部 | 崎本部 | 浜元 |
| 山里 | 谷茶 | 伊野波 | 辺名地 | 渡久地 |
| 伊豆味 | 大浜 | 並里 | 大浜 | 東 |
| 豊原 | 辺名地 | 大浜 | 健堅 | 谷茶 |
| | | 東 | 山川 | |
| | | | 渡久地 | |
| | | | 東 | |
| | | | 並里 | |

※巡回ルートが変更になる場合もありますのでご了承ください。



東京パラリンピック 銀メダル選手ら本部町で 強化合宿

パラトライアスロンナショナルチームが2月7日から3月6日にかけて、本部町と恩納村で強化合宿が行われました。昨年行われた東京パラリンピックで銀メダルを獲得した選手や上位入賞した選手らも参加し、2月7日に歓迎式がホテルマハйнаウエルネスリゾートオキナワで行われました。

歓迎の挨拶を行った知念正昭教育長は「昨年のパラリンピックでは、子どもたちが選手たちの頑張りをみて感銘を受けた。本部町とやんばるの雰囲気を楽しんでいただき、素晴らしい合宿が行われることを願っている」と強化合宿の成功を祈念しました。

同チームを代表して、富川理充ヘッドコーチは「地元の方々の温かさも有り、おもいっきり練習ができています。東京パラリンピック以上の成績を上げられるように邁進していきますので応援よろしくお願います」と意気込みを語りました。



強化合宿に参加した選手たち





新型コロナウイルスのワクチン接種は、WEB及び電話、窓口で予約してください。

本部闘牛組合



「ウシオーラセー」は、重量1トン近い牛同士がぶつかり合い、技を掛け合い迫力ある勝負を繰り広げます。本町でも本部闘牛組合が活発に活動を行っています。昨年3月の本部町で行われた闘牛大会では、収益の一部を町内学童軟式野球チームに寄附を行ったり、上本部中学校創立70周年記念の際にはチャリティー闘牛大会を開催し、マイクロバス購入費用の寄附や本部町子ども子育てゆいまー基金への寄附を行うなど地域の活性化に寄与し、町の発展に欠かせない存在となっています。

同組合の知念利信さんは闘牛の魅力について「角にはいろんな種類があり、その角を活かした技の掛け合いが面白さの一つ。育て上げた牛が勝利した時が一番の幸せ」と語りました。また、同組合の闘牛女子会で養っている「天清若力」は、現在6連勝中と勢いに乗っているほか、数多くの強い牛がいるなど今後の活躍にも期待が寄せられています。

島袋良太組合長は「地域への恩返しを込めて寄附等を行ってきた。老若男女問わず闘牛を好きになってもらえるよう盛り上げて、これからも町の発展に尽力していきたい」と意気込みを語りました。

今年の6月26日には本部町多目的イベント広場(闘牛場)において、闘牛大会が開かれるほか、新たに駐車場も整備され、その他イベント等での活用及び観客増加が見込まれています。



寄附を行った島袋組合長さん(左から3番目)



本部闘牛大会

「ポケモン」オリジナルマンホール蓋 海洋博公園に設置

3月9日、ポケモンのオリジナルデザインのマンホールを海洋博公園内に設置することに伴い、同公園で「ポケふた」のお披露目式が行われました。

「ポケふた」は、マンホールの蓋にポケモンが描かれており、沖縄県内では11カ所の市と本部町のみを設置され、全国のみならず全世界の方々に沖縄の魅力を知っていただき来訪客の増加を目指す取り組みとなっています。

お披露目式で平良武康町長は「関係機関の協力のもと、コロナ後を見据えた観光コンテンツが出来た。これから迎える

コロナ後の観光誘客の一つとしてみんなでPRして行きましょう」と話しました。

一般財団法人沖縄美ら島財団の花城良廣理事長は「ポケふたを設置することでたくさんのお客様が来てくれることを期待している。多くのお客様が本部町に来ていただけるよう本部町と一体となって頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

ポケふた設置においては、株式会社ポケモン社から本部町へ無償贈与が行われ、この度同公園内に設置されました。



ポケふたのお披露目を行った(左から)国営沖縄記念公園事務所の森口俊宏所長、平良町長、花城理事長



海洋博公園内に設置された「ポケふた」



4月は、沖縄を代表する花「アイゴ」が咲き始めるよ。

消防だより



応急手当普及講習会のお知らせ

令和4年4月より消防署で行う応急手当普及講習会の普通救命講習等を毎月定例で開催します。

本部町・今帰仁村に在住の方はもちろん、事業者団体でも参加することが出来ます。多くの方の参加をお待ちしております。

● 応急手当普及講習会とは

成人や小児に対する心肺蘇生法やAEDの操作方法などについて消防職員が指導する講習会です。

講習会は種類によって講習時間や内容が異なりますので、皆さまのご都合に合わせてお申し込みください。

講習会の種類

- 普通救命講習Ⅰ (3時間)
- 普通救命講習Ⅲ (3時間)
- 救命入門コース (90分)
- 上級救命講習 (8時間)
- 応急手当普及員講習Ⅰ (8時間×3日間)
- その他の救命講習 (1時間程度)

詳しくはホームページに掲載しております。電話によるお問い合わせは最寄りの消防署までお願いします。



ホームページ

お問い合わせ

本部町今帰仁村消防組合
 本部消防署 ☎0980-47-7119
 今帰仁分遣所 ☎0980-56-2151

作り方

- ① ハンダマを除いた他の野菜は粗みじんに切っておく
- ② 鍋にオリーブ油、にんにく、ベーコンを入れて弱火で炒める
- ③ ②にタマネギ、人参、カボチャ、セロリを加え、しんなりしたら、押し麦と米を加えて軽く炒める
- ④ 水にチキンコンソメを入れて混ぜ、③に加えて15分程煮込み、押し麦と米が柔らかくなったらトマトを加え、塩・コショウで味を調える
- ⑤ 器に盛り、粗めに切ったハンダマを散らす

材料

- タマネギ ----- 1/2個
- 人参 ----- 1/4本
- セロリ ----- 1/2本
- カボチャ ----- 50g
- ハンダマ ----- 少々
- トマト(種除く) ----- 中1個
- にんにく(みじん切り) ----- 1片
- ベーコン ----- 2枚
- オリーブ油 ----- 大さじ1/2杯
- 米、押し麦 ----- 湯のみ茶碗1/2杯
- チキンコンソメ(顆粒) --- 小さじ1杯
- 塩・こしょう ----- 適宜
- 水 ----- 700cc

レシピ提供:本部町農山漁村生活研究会



今月の
ごちそう
レシピ

野菜いろいろリゾット

もとぶっ子 写真館

町内の子どもの笑顔をお届けするコーナーです!



みやぎ せら ちゃん(1歳)



うえま ことほく くん(2歳)



ちねん まりん ちゃん(5ヵ月)

【募集対象】町内在住の0~7歳

【応募方法】本部町子育てLINE公式アカウントのトーク機能から必要事項を記入し、画像データを添付の上送信してください。

【必要事項】①お子さんの名前、②ふりがな、③年齢または月齢、④一言コメント

●応募数によって掲載時期が変動しますのでご了承ください。

本部町子育て

[ID: @vfr8854q]

LINE友達追加 ▶▶▶





【町県民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税】の納付は便利な口座振替がおすすめです。

運動生活スタート応援キャンペーン！ ～自分らしい生活を送るために 「からだにいいこと」始めませんか？～

もとぶ元気村ウェルネスセンター運動プログラムの参加費用の一部を助成します。水中運動や水中ウォーキングなどご自身に合ったプログラムを提案し、インストラクターによる直接指導で安全・安心に運動が行えます。この機会にぜひ運動を始めてみませんか？

【対象者】本部町在住で65歳以上の方

【募集人数】先着30名(新規の方のみ)

【助成対象期間】令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

【申請受付期間】令和4年4月1日(金)～6月30日(木)

電話予約・お問い合わせ

本部町地域包括支援センター ☎0980-43-0565

〈ミカンコミバエ〉の侵入防止対策に ご協力をお願いします

ミカンコミバエは、グワバやマンゴー等の果実や果菜類に寄生する大害虫で、かつて沖縄県でも生息していましたが、1986年に県全域から根絶しました。しかし、根絶した後も、海外から風等による再侵入のリスクにさらされており、もし侵入されると沖縄県の農業に大きな被害が発生します。ミカンコミバエの侵入防止対策について、町民の皆さまのご協力をお願いします。

侵入防止対策方法

【一般家庭】●家庭菜園などで、利用予定のない果実や落果した果実は、屋外に放置しない

【農業生産者】●ビニールハウスや選果場などに、防虫ネットを設置する
●被覆ビニールやネットの破れは完全にふさぐ
●出入口は二重カーテンなどを設置し、出入り時以外は必ず閉める
●果実残さなどは、ビニール袋に入れ処分し、放置しない
●ハウス内の果実は果実袋で包む
●収穫果実は袋に入れたままか、防虫ネットなどで覆って選果場まで運ぶ

ミカンコミバエの寄生が疑われる場合は速やかに最寄りの関係機関へご連絡ください。

お問い合わせ

沖縄県病害虫防除技術センター ☎098-866-3880
沖縄県北部農林水産振興センター ☎0980-52-2752
本部町農林水産課 ☎0980-47-2412

いつまでも、元気で輝くあなたを応援したい！ ちびら～SUN事業 募集のお知らせ

本部町内で自主的に健康づくりや生きがいづくりに取り組んでいる団体へ、1団体あたり上限10万円の活動費を補助します。

【対象団体】

●65歳以上の高齢者が5人以上参加する団体
●月2回以上、1年以上活動する団体
など、要件があります。詳しくは下記へお問い合わせください。

【補助対象期間】令和4年5月～令和5年2月に行う活動

【申込受付期間】令和4年4月1日～28日まで

※令和3年度に補助を受けていない団体を優先します。

※1行政区1団体への補助となります。応募団体が少ない場合、追加募集を行います。

お問い合わせ

本部町福祉課 ☎0980-47-2165

2022(令和4)年 国民生活基礎調査のお知らせ

厚生労働省では、1986(昭和61)年以降、国民生活基礎調査を実施しており、本年も全国で5,530地区を無作為に抽出し、地区内の世帯を対象として以下のとおり調査を実施します。

【調査の目的】保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定することを目的とする調査です。

【調査票の種類及び調査の期日】

●世帯票、健康票、介護票 →2022(令和4)年6月2日(木)
●所得票、貯蓄票 →2022(令和4)年7月14日(木)

【調査の対象】

| | |
|----------|---|
| 世帯票及び健康票 | 令和2年国勢調査区から層化無作為抽出した5,530地区内すべての世帯及び世帯員 |
| 介護票 | 前記の5,530地区内から層化無作為抽出した2,500地区内の介護保険法の要介護者及び要支援者 |
| 所得票・貯蓄票 | 前記の5,530地区内から層化無作為抽出した2,000単位区内のすべての世帯及び世帯員 |

調査をお願いする世帯には、4月中旬頃から調査員が伺います。調査員が伺った際には、調査へのご協力・ご回答をお願いいたします。

本部町体育施設運動教室会員募集 ～体験会実施中～

コロナウイルスに負けない体力作りに！日頃の運動不足解消に！お気軽にご参加ください。

| | | |
|-------------------|-----------|---------------|
| スポンジテニス(講師:高橋・浜口) | 毎週火・木・土曜日 | 午後2時～4時 |
| 筋肉大学(講師:佐久川) | 毎週土曜日 | 午前9時～午後0時 |
| ヨガスクール(講師:石田) | 毎週木曜日 | 午後7時15分～9時15分 |
| 幼児バスケットボール(講師:梅田) | 毎週金曜日 | 午後4時30分～7時 |

【場所】本部町民体育館

お問い合わせ

本部町体育施設 ☎0980-48-4300



各種税、料金についてクレジットカード、スマホアプリ決済による納付が可能となりました。詳細は町HPをご確認ください。

本部町ちゅらまちづくり応援基金

令和4年1月1日～
令和4年1月31日分

件数229件
総額4,287,000円

ご寄附

ありがとう
ございました

- 自然災害は大変ですが、頑張ってください。
- とても素晴らしい地域ですね。これからも豊かな自然を保護してってください。
- コロナ禍で観光客の減少で大変でしょうが、この苦難を町民の皆様の結束で乗り切って頂ければと思います。

2022年4月

| | |
|--|---------------------------------|
| 1 金 | 15 金 |
| 2 土 | 16 土 |
| 3 日 | 17 日 |
| 4 月 | 18 月 |
| 5 火 | 19 火 |
| 6 水 買い物支援(健堅区) | 20 水 買い物支援(健堅区) |
| 7 木 本部中学校入学式 買い物支援(具志堅区) | 21 木 買い物支援(具志堅区) |
| 8 金 本部小学校入学式 上本部学園入学式 瀬底小学校入学式 伊豆味小中学校入学式 | 22 金 図書資料室臨時休館 (資料整理日のため) |
| 9 土 マイナンバー-休日交付 | 23 土 |
| 10 日 | 24 日 青年農業者日曜朝市 |
| 11 月 | 25 月 夜間納税相談 |
| 12 火 | 26 火 |
| 13 水 マイナンバー-時間外交付 買い物支援(健堅区) | 27 水 マイナンバー-時間外交付 買い物支援(健堅区) |
| 14 木 買い物支援(具志堅区) | 28 木 買い物支援(具志堅区) |
| | 29 金 昭和の日 |
| | 30 土 |

2022年5月

| | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 日 | 16 月 |
| 2 月 | 17 火 |
| 3 火 憲法記念日 | 18 水 買い物支援(健堅区) |
| 4 水 みどりの日 買い物支援(健堅区) | 19 木 買い物支援(具志堅区) |
| 5 木 こどもの日 買い物支援(具志堅区) | 20 金 |
| 6 金 | 21 土 |
| 7 土 | 22 日 |
| 8 日 | 23 月 |
| 9 月 | 24 火 |
| 10 火 | 25 水 マイナンバー-時間外交付 買い物支援(健堅区) |
| 11 水 マイナンバー-時間外交付 買い物支援(健堅区) | 26 木 買い物支援(具志堅区) |
| 12 木 買い物支援(具志堅区) | 27 金 |
| 13 金 | 28 土 |
| 14 土 マイナンバー-休日交付 | 29 日 青年農業者日曜朝市 |
| 15 日 | 30 月 |
| | 31 火 |

毎週水曜日 買い物支援(健堅区)

毎週木曜日 買い物支援(具志堅区)

毎月最終日曜日 青年農業者日曜朝市

4月・5月のマイナンバーカード時間外、休日交付・申請窓口の開設について

時間外交付・申請窓口は右記の通りです(交付に関しては予約制になっております。申請は予約必要ありません。お仕事帰りにでもお立ち寄りください)。

電話予約・お問い合わせ

総務課 ☎0980-47-2102

平日午前8時30分～午後5時15分、午後0時～1時を除く

| | 時間外交付 | 休日交付 |
|-----------|---------------|--------------|
| 時間 | 午後5時30分～7時30分 | 午前9時30分～午後0時 |
| 申請の最終受付時間 | 午後7時15分 | 午前11時45分 |
| 4月 | 13日(水)、27日(水) | 9日(土) |
| 5月 | 11日(水)、25日(水) | 14日(土) |

令和3年度 町税・国保税の納め忘れはありませんか？

4月の夜間納税相談日 **令和4年4月25日(月)** 午後5時30分～7時30分

※状況により、中止となる事があります。

※毎月25日実施(25日が休日であれば翌平日)

※納税相談の際は、事前に電話連絡をお願いします。

【相談できる税】固定資産税・町県民税・軽自動車税(種別割)・国保税・後期高齢者医療保険料

お問い合わせ

健康づくり推進課 ☎0980-47-2701

住民課 ☎0980-47-5629

| 納付月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 固定資産税 | | ○ 1期 | | ○ 2期 | | | | | ○ 3期 | | ○ 4期 | |
| 町県民税 | | | ○ 1期 | | ○ 2期 | | ○ 3期 | | | ○ 4期 | | |
| 軽自動車税 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 国保税 | | | | ○ 1期 | ○ 2期 | ○ 3期 | ○ 4期 | ○ 5期 | ○ 6期 | ○ 7期 | ○ 8期 | |
| 後期高齢 | | | | ○ 1期 | ○ 2期 | ○ 3期 | ○ 4期 | ○ 5期 | ○ 6期 | ○ 7期 | ○ 8期 | ○ 9期 |

本部小学校で十三祝い



2月18日、本部小学校体育館において5年生91人で十三祝いの記念撮影が行われました。十三祝いは、数え年で13歳になると男女ともに最初の干支を迎えることから十三祝いといひ、生まれて初めてのトウシビーとも呼ばれています。児童らは琉装に身を包みクラス別での集合写真を撮りました。



同校の上間忠彦校長は「コロナで行事等が少なくなっている中で、こういうのが出来たのは本当にありがたい」と話しました。保護者も着付けの手伝いを行うなど児童たちの成長を祝福しに多くの方が駆け付け撮影が行われました。

同校5年の城間俐乃さんは「前から着物を着てみたかったから着れて嬉しい。とても新鮮な感じ」と話し、同校5年の西平琥珀さんは「初めてつけたけど着心地が良かった。次は成人式で着物を着たいので、それまでにかっこいい女性になりたい」と思いを話しました。

第2回本部町児童生徒タイピングコンテスト



2月16日、第2回本部町児童生徒タイピングコンテストが町役場で行われました。これは、パソコンについての興味関心を高めることやキーボード操作の技術向上を図ることで、多様化、高度化する社会への対応

できる人材の育成を図ることを目的に行われ、町内各小中学校を代表して3名の方が参加して熱戦が繰り広げられました。また、一部オンラインでの参加もあるなど工夫がされての開催となりました。

小学生の部で見事優勝に輝いた松田空輝さんは「学校でたくさん練習してきたので、その成果が出て良かった。今後は、寿司打のランキング1位になれるように頑張りたい」と

話しました。また、中学生の部で優勝した甲斐花楠さんは「数学が好きなので、それを活かして経理とかの仕事に就きたい」と今後の夢について話しました。

小学生の部で優勝した松田さんは、昨年12月に行われたプログラミングコンテストでも優勝しており、タイピングとプログラミングでの2冠に輝きました。

| 小学校の部 | | 中学校の部 | |
|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 優勝 伊豆味小学校 松田空輝 | 優勝 伊豆味中学校 甲斐花楠 | 2位 本部小学校 屋嘉比佐和 | 2位 本部中学校 具志堅大知 |
| 3位 本部小学校 山城創雲 | 3位 上本部中学校 仲地さくら | 4位 上本部小学校 石川修之典 | 4位 上本部中学校 福井花 |



受賞者の皆さん